

地域のラジオ体操紹介 ～気軽に体を動かしてみませんか～

◎参加自由、どなたでも大歓迎!! お気軽にご参加ください!



新型コロナウイルス感染防止のため、外出を自粛されている方も多くとおもいます。その結果、高齢者の方は身体活動量が3割程度減少しているという報告もあります。ソーシャルディスタンスを保ちながら、気軽に体を動かしてみませんか。

場所：松浪コミュニティセンター駐車場
 開催：毎週月曜 ◎雨天、祝祭日は中止
 時間：8時45分より
 主催：地域包括支援センターさざなみ ☎ 39-5901



場所：松浪自治会館駐車場
 開催：毎日(日・祝除く)
 時間：7時より



場所：松浪緑地(松浪小学校東側の松林)
 開催：毎週 火・木・土曜
 時間：8時30分より(雨天中止)

子育て支援センター

浜竹子育て支援センターのびのび 五十嵐 優子

『浜竹子育て支援センターのびのび』は、辻堂駅西口から徒歩3分の住宅街にある平屋の建物です。妊娠中や子育て中の皆さんがゆっくりくつろぎ、気兼ねなくおしゃべりができるところで、子育てやご家庭に関する悩みや相談も受け付けています。現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防を徹底し予約制で開所しています。

利用者からは『ずっと家にいると子どもが飽きてしまうので、こういう施設があると助かります。』『人と会う機会が減っているの、人と会える場所があつてよかったです。』などのお声を頂いています。

お子さんの日々の成長を共に喜び、気軽に相談できる相手として、アドバイザーがお待ちしています。助産師・保健師・栄養士による専門相談の日もありますので、是非お問い合わせください。



予約・問い合わせ先

浜竹子育て支援センターのびのび
 ☎ 0467-85-7900
 (月～金曜日9:00～17:00)
 ※詳細は茅ヶ崎市ホームページをご覧ください。



令和3年3月15日発行(第22号)
 発行：松浪地区まちぢから協議会
 H P : <https://matunami.jimdo.com/>
 印刷：(有) 仲手川印刷



会長あいさつ

松浪地区まちぢから協議会 会長 前田 積

立春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の報道から一年余りが過ぎますが、なかなか収束が見えてこない状況です。この状態がいつまで続くかわかりません。

去年は松浪地区まちぢから協議会として皆さんと共に楽しめるような行事が何もできませんでした。今年も今まで普通に行ってきたような事は何もできないかもしれません。そんな中でも地域の皆さんと一緒に楽しめる行事がないだろうかといろいろと考えています。

まずは皆さんにもコロナに打ち勝つこと(うがい・手洗い、消毒、マスク着用、換気、身体的距離の確保、三密を避ける等)を行っていただき、一日も早くコロナが収束する事を望みたいと思います。



松浪地区にお住まいの皆さんが日頃から防犯パトロールなどに力を注いで下さっているおかげで、松浪地区にはほとんど犯罪が発生しておりません。防犯に力を入れていることが評価され、松浪地区まちぢから協議会に神奈川県防犯協会連合会会長・神奈川県警察本部長連名で感謝状を頂きました(感謝状は松浪コミセンに掲げてあります)。

松浪地区の皆さん、これからも力を合わせて防犯パトロールなどへのご協力をお願いします。

松浪コミュニティセンター利用状況

緊急事態宣言発令中の為、松浪コミセンでは新型コロナウイルス感染予防対策の徹底をお願いしています。

- ①マスクの着用 ②手指の消毒 ③三密回避 ④飲食禁止(水分補給を除く)



1F フリースペース AM9:00～PM8:00

入口にて来館者カードに、お名前・連絡先・健康状態・入館時間をご記入頂き、読書・学習・パソコン作業など自由に利用して頂いています。ソーシャルディスタンスを保つ為、現在は20席までのご利用とさせていただきます。



1F なみっこ AM9:00～PM4:30

お子様が安心して楽しく遊べます。スペースを広く取り、遊具(滑り台、卓球台)も準備しております。月ごとに、なみっこ内の壁面に見て学べる楽しい工夫(小学校低学年向け)がされています。ぜひ遊びに来て下さい!!



2F 各部屋 AM9:00～PM8:00

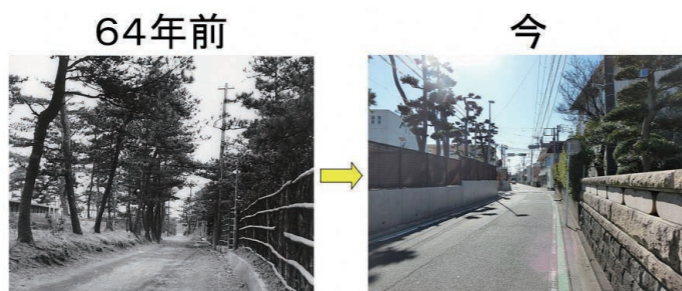
ホール1・2は広いスペースがあるので、卓球・太極拳・空手・フラダンスなどの練習に使用して頂いています。密にならないよう人数制限を設け、常時換気もお願いしています。

松浪地区さんぽ道 ~松浪小学校誕生物語1~ 元松浪小学校教頭 鴨志田 聡



松浪地区の皆様、在職中はたいへんお世話になりました。教員生活最後の4年間を松浪小学校で過ごせたことを感謝しております。その中で印象的だったことは、地域の方々の学校に対する温かい思いです。その背景のひとつに、松浪小の開校に至る経緯があったのではないかと私は思います。今回から松浪小の誕生にかかわる話題を連載させていただくことになりました。よろしくお願いたします。

さっそくですが、こちらの二つの写真をご覧ください。左の写真は昭和31～32年の間に撮られたもので、右の写真は昨年、私が同じアングルで撮影したものです。場所はもうお気づきでしょう。中央の道路は「学園通り」で、左手に写っているのが松浪小学校です。松の木の大きさと本数に時代の移り変わりを感じます。右の写真奥の信号を右折すると小和田公民館です。松浪小は松林小学校への併設という形で昭和31年1月1日に開校します。(当時、松浪地域の児童は松林小へ通っていました。)



同じ場所です！どこだと思いますか？



同年、3月1日から新しい学校敷地となる現在地(松浪1丁目)の整地工事が始まり、10月30日に地鎮祭、12月10日の上棟式が行われ、翌昭和32年2月2日に第1期工事として木造8教室と外便所ひとつが完成します。地鎮祭から3ヶ月で松浪小の新校舎が完成しました。それまでの期間、松浪小の児童と先生方は松林小で勉強するという間借り生活でした。

そして、2月5日、いよいよ松林小から新しく完成した松浪小に「引越し」をする日が来ました。新しい校旗を先頭に磯崎初代校長先生と333名の児童たちが喜びと期待を胸に、新しい自分たちの学校へと胸を張って行進していく姿(左の写真)は地域や保護者の方々にとって忘れられない思い出となったことでしょう。実は松浪小の新設には、この地区ならではの児童の通学にかかわる問題がありました。今回はこの点についてお話ししたいと思います。

松浪地区の災害リスク(津波編) 防災対策部会 部会長 渡邊 勇次(一級建築士・応急危険度判定士)

「湘南海岸には大津波の可能性は少ないよ!」と話しても、三陸のような津波が絶対に来ると信じている方も少なくありませんので、今回は津波の内容を書きます。

関東大震災の時に、「津波で庭先まで水が来た」「鵜沼で東屋が流された」「海岸の松林に小船が流れついた」「潮が引いて海底が見えた」などの話が伝わっていますが、どれも事実です。随筆家の寺田寅彦が、「鵜沼の津波が引地川を遡り、低地の東屋が流されたが水は間もなく引いた」との内容を実体験として書いています。

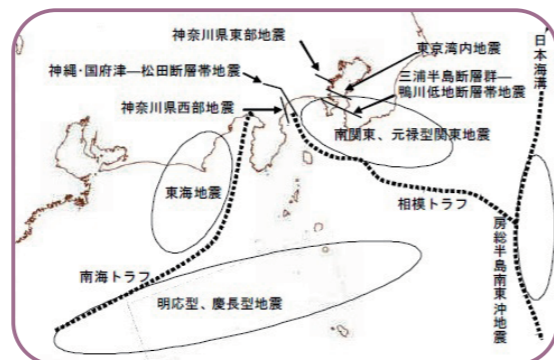
庭先まで水が来た件については、昔の茅ヶ崎には用水路が海岸まで数本流れていて、そこを津波が遡ったことも考えられます。現在の海岸にも用水路の出口が数本ありますが、津波が来たらその用水路から津波が侵入して床下浸水程度の被害は出るかもしれません。最近の説では、流状化現象が発生して水が出たとの説も有力になっています。

昔の茅ヶ崎海岸は遠浅で、私が中学生の頃、引き潮の時は首まで海につかりながら平島まで歩いて渡れました。津波が来るとき、潮が引くことは常識なので、浅い海なら海底が見えるのが普通です。

相模湾の西にも東にも大津波を発生させるプレートがありますが、房総半島・伊豆半島により多少の津波は

ブロックされます。関東大震災の震源の相模トラフは、10m以上の津波を発生させる構造ではないと言われていますが、入江になっている鎌倉や真鶴は10m近い津波が発生すると言われています。

「津波が来ないから安全です」と断言しているのではありません。最近は少なくなりましたが、東日本大震災の津波の映像を見て、住まいや学校を変えた方がいることを聞いたことがあります。「地震が来た」「津波が来る」でパニックになる行動の方が危険です。インターネットや本などで正確な知識を自分で確認することが大切であると思います。



神奈川県による新たな津波浸水予想図の震源域(神奈川県のホームページ)

煌人にエール!! Vol.4 松浪地区出身の煌人(きらびと)をご紹介します、エールを送りましょう。

今回の煌人は、美住町にお住いのピアニスト「野中拓人さん」、現在28歳です。

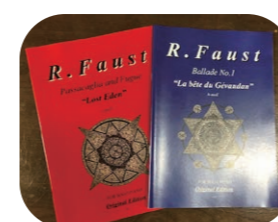
彼は、2019年に東京で開催された「第10回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan」で特別最優秀指導者賞を受賞しました。彼は、昭和音楽大学を卒業後、2018年にハンガリーの「リスト音楽学院」に1年半留学。大学時代や留学中に音楽理論を学んだ経験を活かして、自宅の「ファウスト音楽教室」でピアノを教えながら、ピアニストとしてコンサート活動や作曲活動をされている煌人です。



彼のピアノとの出会いは中学2年の時です。休みにクラスメートが弾いていたベートーベンの曲を聴いて感動し、楽譜も読めなかった少年がピアノを弾き始めました。ピアノ教室に通い始めてからは、ゲームよりもピアノに夢中になり、人と何かをするより一人でできて完結するピアノが彼の性格に合っていたようです。2年余りのハンガリーの留学生活では、ピアノのレッスンだけでなく大学時代から学んでいる音楽理論の勉強も深められました。時には、ブタペストの街中で、道端に置かれたグランドピアノで即興曲を弾き、ストリートピアノの経験もされ、本当に楽しく充実した留学生活でした。ドイツで北極オオカミに

触れ合ってからオオカミが大好きで、趣味はピアノとオオカミのグッズ集めです。

帰国後、ご実家の老舗の和菓子処「野中屋」を手伝いながら、音楽教室で小学生から社会人の方にピアノを指導され、大学の同期の方とピアノのリサイタルを開いて活躍されています。野中さんは、「世界一うまいピアノは人が歌っているように弾くピアノ」「趣味にしてもプロになるにしてもピアノを楽しく弾いてほしい」、それだけでなく「音楽的に弾くにはどのように表現すればよいか」を、演奏技術と併せて音楽理論として、簡単に曲の中で子どもたちにできるだけ分かりやすく教えています。「今はわからなくても音楽理論を知っていくことが大切で、その理論を応用して曲や即興曲を作れるようになる」と、指導者として語ってくれました。



野中さんは作曲家としても活動していて、フランスの「ジェウォーダン事件」のオオカミを題材とした作曲や、また、2冊の楽譜を自費出版しました。さらに、旋律と和声を組み合わせて楽曲を作る「対位法」も研究していて、対位法を使ったフーガ25曲の楽譜集を制作中です。

野中さんのこれからの夢は、指導者としては、生徒さんを音楽大学に進学させることや、コンクールの優勝者を教室から輩出すること。ピアニスト・作曲家としては、いつか自分で書いた曲だけのプログラムでリサイタルを開き、ヨーロッパに演奏旅行に行くこと。そしていつか、「音楽史にフーガの作曲家として名前が刻めたら」と熱く語ってくれました。

ラフマニノフが大好きな野中さん、演奏技術に加え、楽曲を分かりやすく理論的に解説するアプローチと表現力を重視した本場ヨーロッパ仕込みの本格派レッスンをお届けします!「ファウスト音楽教室」を覗いてみてください。温厚に見える青年ですが、心の中に音楽を愛する情熱を秘めた若き煌人「野中拓人さん」を皆さんで応援していきたいと思ます。(記:佐々木)



ベルマーク収集活動

緑が浜小学校ベルマークボランティア

日頃より緑が浜小学校ベルマーク収集活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

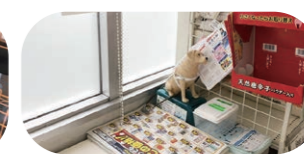
富士見郵便局をはじめ、クリエイトSD常盤町店、松浪コミュニティセンターにも新たに集取箱を設置させていただける事になりました。皆さまからいただいたベルマークは「1点=1円」の緑小ベルマーク預金となり、学校の設備や備品などの購入に企てられます。子どもたちのより良い環境づくりに、是非ともご協力をお願いいたします。



松浪コミュニティセンター



富士見郵便局



クリエイトSD常盤町店